

取組の概要

取組の概要 : 加工品（あんぽ柿）の増産による産地強化
 計画作成主体 : 浜田市農業再生協議会
 対象品目 : かき（西条柿）（産地面積:27.3ha）
 主な取組主体 : 島根県農業協同組合
 成果目標 : 販売額の10%以上の増加（総販売額）
 助成金の活用 : 整備事業（農産物処理加工施設）
 状況

ポイント

- 施設整備によりかき加工品（県内統一ブランドあんぽ柿）を生産。
- 加工仕向けを増やすことにより、秀品率を向上させ、生果の値崩れを防止。
- 加工品（あんぽ柿）の増産により、販売額の増加を実現。

地区の概要



産地の現状と目標

〈現状:H27年度〉

作付面積 : 27.3ha
 生果販売単価 : 267円/kg
 あんぽ柿販売額 : 10,395千円

〈目標:H30年度〉

作付面積 : 27.3ha
 生果販売単価 : 300円/kg
 あんぽ柿販売額 : 30,780千円



推進体制

地域の関係者（島根県農業協同組合、島根県、浜田市）が一体となり、プロジェクトチームを結成し、施設整備を含めた産地振興に向けた各種事業を推進。

地域における独自の取組

〈主な取組〉

県、市、JAが連携して統一ブランドあんぽ柿の生産体制の整備と販売力向上に向けた活動を展開。

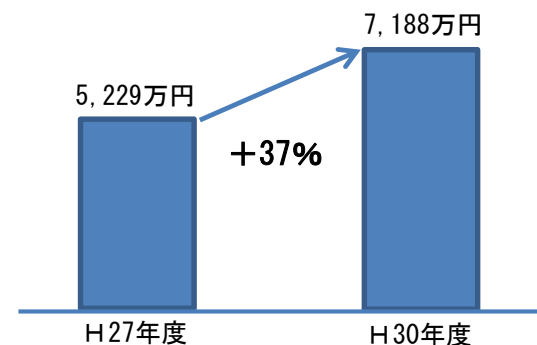
〈県・市町村単独事業〉

- 市単独事業により、生産規模拡大、生産者の育成・確保に向け、施設整備、新植・補植などの支援を実施。
- 県単独事業により、県内統一ブランドあんぽ柿の生産に資する設備・機械整備の支援を実施。

事業効果

- 単位面積当たりの販売額が高いかき（地域の主要8品目中3位）の産地強化。
- 加工仕向けを増やし、生果の値崩れを防止することによる生産者所得の向上。
- あんぽ柿の増産による、新たな契約取引チャンネルの創出。

～かきの販売額～



取組の概要

取組の概要 : 出荷調整及び干柿の増産による農家所得の向上と産地維持
 計画作成主体 : 出雲市農業再生協議会
 対象品目 : かき(西条柿) (産地面積:30.4ha)
 主な取組主体 : 島根県農業協同組合(出雲地区本部)
 島根県農業協同組合出雲地区本部平田柿部会
 成果目標 : 販売額の10%以上の増加
 助成金の活用 : 整備事業(集出荷貯蔵施設)状況

ポイント

SCS(スーパークーリングシステム)搭載冷蔵庫の導入により、かきの生果出荷量の調整幅を拡大することで価格の下落を防ぐとともに、干柿の加工期間の延長・増産により、販売額10%以上の増加を実現。

地区の概要



産地の現状と目標

〈現状:H27年度〉

作付面積 : 30.4ha
 販売額 : 511,972円/10a
 うち干柿販売額 : 247,322円/10a(48%)

〈目標:H30年度〉

作付面積 : 30.4ha
 販売額 : 591,681円/10a
 うち干柿販売額 : 360,691円/10a(61%)



生果

干柿(あんぽ柿)



推進体制

地域の関係者(出雲市、島根県農業協同組合(出雲地区本部、生産者部会等))が一体となり、事業を推進。

地域における独自の取組

〈主な取組〉

「ひらたの柿産地活性化プロジェクト」による、総合的な支援策の実施。

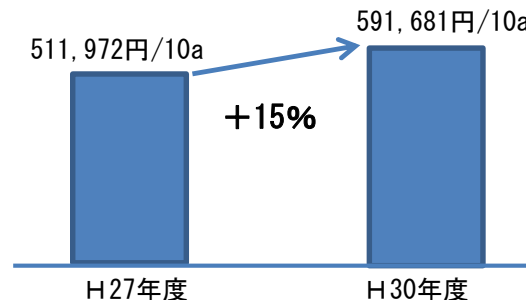
〈県・市町村単独事業〉

- 「しまねの西条柿(あんぽ柿)もうける産地育成事業」による機械整備リース料支援。
- 「21世紀出雲農業3F事業」による産地維持に向けた補助メニューの実施。

事業効果

- SCS搭載冷蔵庫により生果の保存期間の延長が可能となり、干柿向けの加工期間を延長することで生果出荷量の調整幅が拡大する。
- 市場要望が強い干柿割合を増加させることにより農家所得の向上を図る。

～かきの販売額～



取組の概要

取組の概要 : メロン・トマト産地の形成の推進
 計画作成主体 : 益田市農業再生協議会
 対象品目 : メロン・トマト (産地面積:2.0ha)
 主な取組主体 : 益田施設野菜研究会
 成果目標 : 販売額の10%以上の増加 (総販売額)
 助成金の活用 : 生産支援事業 (パイプハウス資材) 状況

ポイント

- ①パイプハウス資材の導入により施設規模を拡大する。
 - ②規模拡大に意欲ある青年営農者が研修、勉強会等を実施し生産技術を高める。
 - ③JAへの共同販売に継続参加し、市場での優位性を高める。
- これらにより販売額の10%以上の増加を実現する。

地区の概要



産地の現状と目標

〈現状:H27年度〉

	メロン	トマト
作付面積	1.51ha	0.35ha
収穫量	3.6t/10a	8.3t/10a
生果販売単価	520円/kg	290円/kg
販売額	27,858千円	8,392千円

〈目標:H31年度〉

	メロン	トマト
作付面積	2.03ha	0.47ha
収穫量	3.5t/10a	8t/10a
生果販売単価	445円/kg	283円/kg
販売額	31,994千円	10,781千円



推進体制

地域の関係者(島根県、益田市、島根県農業協同組合西いわみ地区本部)が一体となり、生産基盤整備などの各種事業を実施することで産地振興を推進。

地域における独自の取組

〈主な取組〉

- 施設規模拡大に意欲ある青年営農者等への各事業による規模拡大支援。
- 青年営農者等の生産技術向上のため、研修会や勉強会を開催支援。

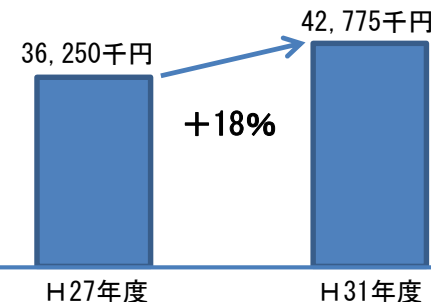
〈県・市町村単独事業〉

- 平成28年度新農林水産振興がんばる地域応援総合事業(地域提案戦略支援)及び益田市新農林水産振興がんばる地域応援総合事業を活用し、メロン・トマト栽培の施設整備を支援。

事業効果

- 品質、収量の向上により、市場からの信頼度が増すことで取引量が増加し、販売額の10%以上の増加を実現する。
- 就農を検討する人が参考となるモデルケースとしての効果が期待できる。

～メロン・トマトの販売額～



取組の概要

取組の概要 : 施設野菜産地の形成の推進
 計画作成主体 : 飯南町地域農業再生協議会
 対象品目 : トマト、パプリカ (施設野菜)
 (産地面積:3.4ha)
 主な取組主体 : 飯南町
 成果目標 : 販売額の10%以上の増加 (総販売額)
 助成金の活用 : 生産支援事業 (パイプハウス資材)
 状況

ポイント

- ①パイプハウス資材の導入により、町が園芸用ハウスを整備し貸し出す「リースハウス団地整備事業」を実施。
- ②ハウス貸し出しによる生産拡大 (産地形成) に加え、農業者の初期投資を軽減することで、生産規模拡大や新規就農を促す。

地区の概要



産地の現状と目標

〈現状:H27年度〉

トマト	パプリカ
作付面積 : 0.71ha	0.58ha
販売単価 : 292円/kg	656円/kg
販売額 : 10,166千円	8,460千円

〈目標:H32年度〉

トマト	パプリカ
作付面積 : 2.35ha	1.05ha
販売単価 : 287円/kg	674円/kg
販売額 : 26,978千円	14,828千円



推進体制

地域の関係者 (各品目生産団体、J A、県、町) で協議会を組織し、栽培指導や販路確保、生産基盤整備などの農業振興に向けた事業を一体的に推進。

地域における独自の取組

〈主な取組〉

- 生産拡大に意欲ある農業者への施設規模拡大へ向けた支援。
- 新たに就農を志す青年を対象とした農業研修の実施や就農時の施設・機械整備など、担い手数増加のための支援。

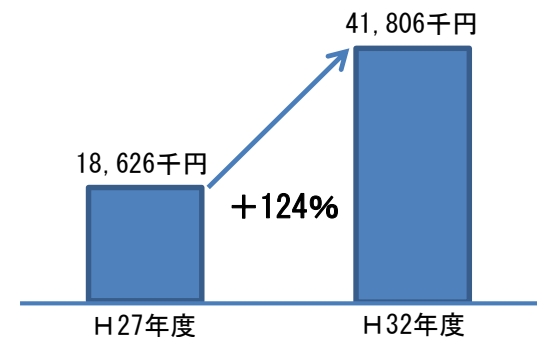
〈県・市町村単独事業〉

- 町単独事業によるハウス整備への補助。
- 県及び町単独事業による生産者の育成・確保に向けた、農業研修生への助成や就農時の施設・機械整備への補助。

事業効果

- リースハウス団地整備事業を実施し、農業者の初期投資を軽減。就農しやすい環境をつくることにより、今後の園芸作物生産の担い手数を増加。
- 生産面積・出荷量の増加により既存契約先に加え新規取引先を開拓し、園芸作物の産地形成と地域全体の所得向上を実現。

～トマト・パプリカの販売額～



取組の概要

取組の概要 : 施設ぶどう産地の形成の推進
 計画作成主体 : 大田市農業再生協議会
 対象品目 : ぶどう(施設) (産地面積: 4.9ha)
 主な取組主体 : 島根県農業協同組合、農業者
 成果目標 : 販売額の10%以上の増加(総販売額)
 助成金の活用 : 生産支援事業(パイプハウス資材購入状況 及びハウスの高度化整備)

ポイント

大田市のぶどう生産に関連する産地ビジョン「1億円産地」の目標達成を目指す。

- ①新たなハウスの増設により、農業者の生産規模拡大を図る。
- ②ハウスの高度化整備により、高品質化や収量向上を図る。

地区の概要



産地の現状と目標

〈現状:H28年度〉

作付面積 : 4.5ha
 販売単価 : 1,208円/kg
 販売額 : 28,729千円

〈目標:H32年度〉

作付面積 : 4.9ha
 販売単価 : 1,207円/kg
 販売額 : 32,331千円



推進体制

地域の関係者(農業者等、JA、県、市等)が、栽培指導や販路確保、生産基盤整備などの農業振興に向けた事業を一体的に推進。

地域における独自の取組

〈主な取組〉

- 意欲ある農業者への施設規模拡大へ向けた支援。
- 農業者のハウスの高度化整備を積極的に推進し、高品質化や収量向上に向けた支援。

〈県・市町村単独事業〉

- 県単独事業による施設整備及びハウスリース料の支援。
- 生産者の育成・確保に向けた農業研修生への助成や、就農時の施設・機械整備への補助。

事業効果

- 県単独事業を実施し、農業者の初期投資を軽減。農業者の生産規模拡大及びハウスの高度化整備により、生産者の生産意欲及び所得向上に繋がる。
- 高品質化や収量向上により、高単価・有利販売に繋がる。

～ぶどう(施設ぶどう)販売額～

